

調整式中型ショックアブソーバの取付け、取扱い説明

(MA型, ML型マグナムグループ・ショックアブソーバ)

取付け取扱い説明要領に従い、充分注意して設置していただければ、安全かつ長期間に渡って最適な状態で御使用になれます。

取付け概要

設置場所に歪のない、充分強度がある構造物上に、調整式中型アブソーバを取付けて下さい。
(FIG. 1)

ロッド先端のボタンと荷重物体が水平に当る様に調整 (最大偏心角度: $\pm 5^\circ$) して下さい。
熱を最大限に発散させる為、本体への塗装は避けて下さい。 必要に応じ保護板を使用し、酸、スチーム、溶接スパッタ、ヒューム、粉塵等から本体を保護する様に処置して下さい。
又、2本以上で併用して御使用の場合は、同一機種を使用し、荷重が均等に分配される様、設置願います。

◎取付け部板厚とフランジ取付けボルト

シリーズ	"T" 最小寸法	取付けボルト
MA, ML 33	10 mm	M 6
MA, ML 45	13 mm	M 8
MA, ML 64	16 mm	M 10

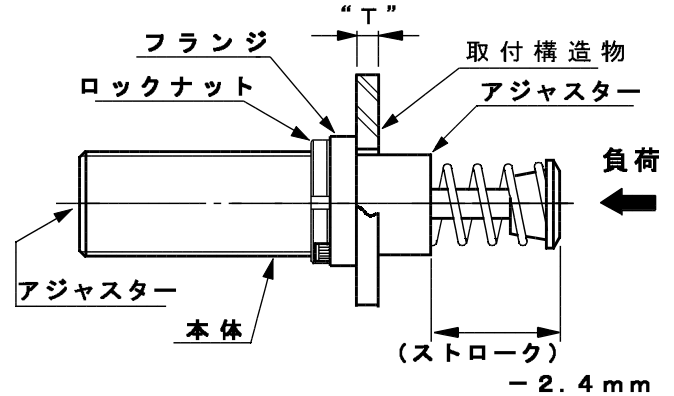


FIG. 1

アキューム・レーター内蔵式アブソーバの取付け

MA型及びML型調整式中型アブソーバには、工場出荷時に ATF オイルが充填してありますので、設置後すぐに御使用出来ます。

エアー・オイル・タンクの取り付け

MAA型及びMLA型アブソーバには、工場出荷時に ATF オイルが充填してありますが使用前に必ずエアーオイルタンクと配管にて連結して下さい。(FIG. 2)

エアーオイルタンクは、本体から可能な限り最短の位置に、しかも高い位置になる様に設置して下さい。 又、タンクとアブソーバ本体間の配管は金属管を使用しなるべく長さが 1.5 m 以内になる様に施工して下さい。 配管内径は本体ポートと同等か、それ以上の大きさになる様にして下さい。 オイルの流動抵抗が増大する様な配管施工は避けて下さい。

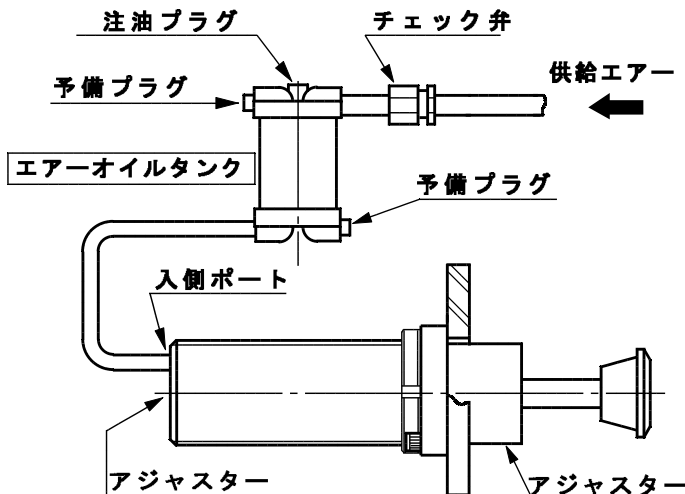


FIG. 2

遮断弁をタンクとアブソーバ本体間に取付けない様御注意下さい。
エアー配管上にチェック弁を組み込み、タンクの予備ポートを塞いで、指定のオイルを適量レベルまで注入すれば、(過充填にならない様に注意して下さい。) 完了となります。 尚、操作空気圧力は 3.5 ~ 7 kg/cm の範囲で御使用願います。 又、御使用の前に裏面の調整要領に従って必ず調整作業を実施してから御使用下さい。

◎ 適合エアーオイルタンク

シリーズ型式	エアーオイルタンク
MA, ML 33	AO-1
MA, ML 45	AO-1
MA, ML 64	AO-3

産業用ショックアブソーバ専門メーカー

ACE

エース コントロールス ジャパン エルエルシー

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6
田中ビル 3階

TEL: 03-5297-2510 FAX: 03-5297-2517

エース・ショックアブソーバの調整要領

(MA型, ML型マグナムグループ・ショックアブソーバ)

この度は、弊社産業用ショックアブソーバを、御使用いただき誠に有難うございます。
ショックアブソーバの調整とは、理想的な衝撃吸収になるように、アプリケーション各種に応じて
(使用状況によって) 重量効果値 (イフェクティブウェイト) が適合するようにオリフィスを開け
たり閉じたりさせて、最適な目盛位置を決定する作業です。 エースショックアブソーバは0から
9の目盛がついており、この範囲内でアジャスターにて調整いたします。

(オリフィスは、0で全閉、9で全開状態になります。) エースショックアブソーバは、工場
出荷時にアジャスターの目盛が、5にセットされておりますので御使用にあたりましては、各ア
プリケーションごとに調整が必要になります。



▲
工場出荷時

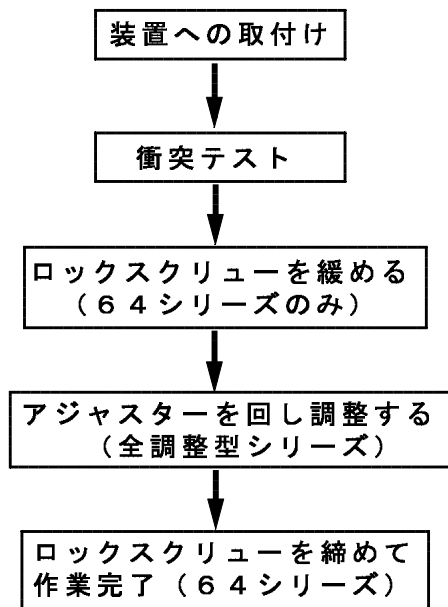
まず、装置に取り付けが終わりましたら、目盛5のままで物体を衝突させます。この時、ショック
吸収が充分であれば、そのまま御使用出来ますが、ショック吸収が不十分な場合にはアジャスター
を廻して調整作業を実施いたします。 調整でアジャスターを回転させるためには、まずロック
スクリューを緩めますがこの作業は64シリーズのみ実施して下さい。 33、36、45の各
シリーズにおいては、調整の廻り止め (ロック) は不要になりました。 そのため64シリーズを
除いて調整型には現在、ロックスクリューが付いておりません。64シリーズのロックスクリュー
の緩め締め付けは六角レンチ・2mmで実施いたします。 アジャスターの作動は本体構造上少し
堅めになっておりますが、前部アジャスターの回転はピンレンチで行い、後部アジャスターは六角
レンチで回転させます。 衝突時、次の様な症状が現れた場合、必ず調整作業を実施していただき
ます。 この調整作業を怠るとショックアブソーバの役目を果たさぬばかりか、取り付け機器本体
へも悪影響が発生しかねませんので、必ずこの調整作業は実施して下さい。

マグナムグループアブソーバの調整型は、目盛
が前部及び後部の2ヶ所に表示されており、
アジャスターも2ヶ所の設定です。
フロントまたはリヤのアジャスターのどちら
か都合の良いほうを選択して戴き、調整作業を
実施して下さい。

(作業手順)

符号	症 状	処 置
A	◎先端ボタン側で ショックが発生 する。 (はねかえり現象)	◎目盛5から9の方向に アジャスターを廻し、 適切な位置を設定して 下さい。
B	◎フロントアジャスタ ー先端でショックが 発生している。	◎目盛5から0の方向に アジャスターを廻し、 適切な位置を設定して 下さい。
C	◎目盛1以下でも ショック吸収しない	◎1段階上のアブソーバ を検討していただく。

調整が終わりましたら、ロックスクリューを締め、調整
リングが振動等で廻ることのないようにして、作業完了
となります。 容量不足を承知で、なおかつ衝突速度
が速い場合、目盛を3以下には絶対にしないで下さい。
インナーチューブがパンク破損してしまいます。



産業用ショックアブソーバ専門メーカー



エース コントロールス ジャパン エルエルシー

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-9-6
田中ビル 3階

TEL: 03-5297-2510 FAX: 03-5297-2517